KaracrixBuilderV3 システムマニュアル

2 2章　画像記録

（章別取扱説明書 v1.00）

株式会社 エスアイ創房

■改定履歴

第 1.00 版　2008/12/1

■ おことわり

(1) 本書内容の一部又は全部を、無断で他に転載することは禁止されています。

(2) 本書内容は、将来予告無く変更する場合があります。

目次

22章 画像記録

タイムラプスメニューでは、監視カメラ画像(イメージ)などの動画入力を扱うIMGポイントを、JPEGファイルとして保存記録することができます。保存した画像ファイルは、イメージビュワで連続再生したり、記録画像の記録時刻を指定してダイレクト検索を行うことができます。
画像記録を行なう場合には、システム設定で予め画像記録方式の設定を行なっておく必要があります。
画像記録方式には、“エンドレス記録”と“ワンウェイ記録”があります。
(「19章 19.5 画像記録方式の設定」参照)

22.1 画像記録画面

画像記録画面は、記録時刻帯(エンドレス記録時)、先頭記録時刻(ワンウェイ記録時)順に記録保存されている画像ファイルを選択表示するための一覧画面です。
メインメニュー画面から、“タイムラプス”ボタンを選択して下さい。

○エンドレス記録の場合

「エンドレス画像記録」画面が表示されます。



図 22.1.1 エンドレス画像記録画面

◯ワンウェイ記録の場合

「ワンウェイ画像記録」画面が表示されます。



図 22.1.2 ワンウェイ画像記録画面

①No

記録時間帯の通番です。

②記録時刻帯 [◯エンドレス記録時]

保存ディレクトリに格納されている画像ファイルの曜日と時間帯が表示されます。

②記録先頭時刻 [◯ワンウェイ記録時]

保存ディレクトリに格納されている画像ファイルの先頭時刻が表示されます。

③格納場所(dir)

記録画像ファイルの格納ディレクトリ名が表示されます。格納ディレクトリ名は、以下のディレクトリ配下に作成されます。

$KARACRIX/usr/vdr/0/ (2008 年現在)

④格納ファイル数

格納ディレクトリに保存されている記録画像ファイルの数を表示します。

⑤平均サイズ(byte)

格納ディレクトリに保存されている記録画像ファイルの平均サイズを byte 単位で表示します。

⑥格納サイズ(byte)

格納ディレクトリに保存されている記録画像ファイルの合計サイズを byte 単位で表示します。

(1)画像記録条件設定

画像記録の条件設定を行ないます。"記録設定"ボタンを押して下さい。「画像記録条件設定」画面が表示されます。

○エンドレス記録の場合



○ワンウェイ記録の場合



図 22.1.3 画像記録条件設定画面

①記録ポイント名

記録するIMGポイント名が表示されます。

②最大記録容量(byte)

現在設定されている、記録できる画像ファイルの最大合計容量を表示します。この値を変更する場合は、「システム環境設定メニュー」→「画像記録方式」ボタン→「画像記録方式設定」画面で行います。

③連続通算記録回数

記録が開始されてからの連続通算記録回数を表示します。KaracrixBuilderをリセットあるいは終了させたり、記録を停止させたりすると"0"にリセットされます。

④記録総ファイル数

記録されている画像ファイルの総数を表示します。

⑤ファイル使用量(byte)

記録画像ファイルのディスク使用量をbyte単位で表示します。

⑥ステータス

画像ファイル記録に関するシステムの動作状況を表示します。
表示される情報を以下に示します。

正常動作:	正常動作中 (本機能はイメージデバイスの動作状況と無関係に動作します)
待機:	動作待機中
容量超過エラー:	最大記録容量を越えたため記録を停止

また、上記以外の情報は、IMG 型ポイントオブジェクトの「汎用文字属性 1」に表示される場合があります。以下に表示内容の例を示します。 (「ポイント属性一時変更」→IMG型「ポイント属性設定」画面)

videodev(open):	デバイスがopenできない
object(image_whdots_set_error):	画像イメージの大きさの設定に間違いがある
none/objid:	画像ポイントが登録されていない
nosetenv:	環境ファイル(syscnf.env)で不許可設定になっている

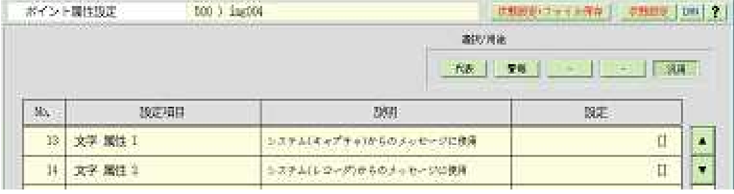


図 22.1.4 ポイント属性設定画面の汎用文字属性 1

⑦周回遅れ記録ファイルの消去（“OLDCLR”ボタン）　[○エンドレス記録時]

記録期間を過ぎたファイルのみを消去します。（記録停止状態で実行可能です）

⑧全記録ファイルの消去（“ALLCLR”ボタン）　[○エンドレス記録時]

保存されている記録ファイルを全て消去します。（記録停止状態で実行可能です）

⑧全記録ファイルの消去（“CLR”ボタン）　[○ワンウェイ記録時]

保存されている記録ファイルを全て消去します。（記録停止状態で実行可能です）

⑩記録サンプリング時間設定（秒）

画像記録のサンプリング間隔を設定します。単位は、“秒”です。

サンプリング間隔の基準時刻は、毎時 0 分 0 秒です。

⑪画像クオリティ設定

画像記録ファイルは、JPEG 圧縮されて記録されますが、画像のクオリティによりファイルサイズが大きく変化します。記録時間と画質のバランスを考えて設定して下さい。

クオリティを高くするとファイルサイズは大きくなり、画像品質が上がります。

クオリティを低くするとファイルサイズは小さくなり、画像品質が劣化します。

1～100 の間で設定することができます。デフォルト値は 70 になっています。

自動制御記録モード時には、プログラムがクオリティを調整するため、ここでの設定は無効になります。

⑫記録停止ボタン

ボタンを押した時点で、記録を停止します。

⑬記録開始ボタン

記録を開始する準備を行ないます。本画面を“ENT”ボタンで終了後に記録を開始します。

⑭自動制御記録ボタン

プログラムから、記録の開始停止を行なう設定を行ないます。本画面を“ENT”ボタンで終了後にプログラムによる自動記録が有効になります。

(2)記録状況表示

記録画像保存時刻帯の一覧の上部には、画像記録状況が表示されます。

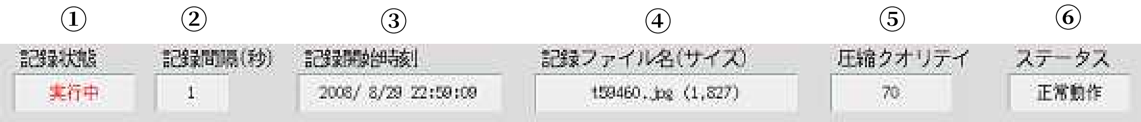


図 22.1.5 記録状況表示例

①記録状態

画像記録の実行状態を表示します。

実行中: 記録動作中

実行中(PRG): 制御プログラムから自動制御記録を実行中

停止中: 記録停止中

②記録間隔(秒)

記録設定画面で設定されている画像記録の保存間隔時間を表示します。

③記録開始時刻

記録設定画面で記録開始ボタンを押した時刻を表示します。

④記録ファイル名(サイズ)

最新の記録画像ファイル名とサイズ(byte)を表示します。

⑤圧縮クォリティ

画像記録ファイルの JPEG 圧縮の画像品質を表示します。

⑥ステータス

記録動作状況を表示します。表示される情報を以下に示します。

正常動作: 正常動作中 (本機能はイメージデバイスの動作状況と無関係に動作します)

待機: 動作待機中

容量超過エラー: 最大記録容量を越えたため記録を停止

表示内容の詳細については「画像記録条件設定」画面の“ステータス”欄の表示内容も参照して下さい。

(3)画像表示時間の選択

“記録時刻帯”又は“記録先頭時刻”欄には、記録画像の保存時刻帯又は先頭時刻が表示されています。表示したい時刻帯等が表示されている行を選択するとイメージビュワ画面が表示され、その時刻帯の記録画像を検索して表示することができます。

○エンドレス記録の場合

記録画像を保存するディレクトリには、それぞれ 1 時間分づつ記録ファイルが作成されて行きます。最大記録時間を経過すると次の時間の記録ファイルは、先頭のディレクトリに存在している同名ファイルに上書きされて保存されて行きます。

No.	記録時刻帯	格納場所名(dir)	格納ファイル数	平均サイズ(byte)	格納サイズ(byte)
95	水曜日　22 時	w3h22	1,151	1,829	2,105,179
96	水曜日　23 時	w3h23	3,600	1,829	6,584,400
97	木曜日　00 時	w4h00	2,055	1,829	3,758,595
98	木曜日　01 時	w4h01	0	0	0
99	木曜日　02 時	w4h02	0	0	0

図 22.1.6 表示時間帯の選択

○ワンウェイ記録の場合

記録画像を保存するディレクトリには、それぞれ 1000 枚の記録ファイルが作成されて行きます。記録は No.1 より始まり、1000 枚を越えると次のディレクトリに記録が移ります。最大記録枚数に達すると自動的に記録を終了します。

No.	記録先頭時刻	格納場所(dir)	格納ファイル数	平均サイズ(byte)	格納サイズ(byte)
1	2008/07/25　01:07	m00	1,000	1,829	1,829,000
2	2008/07/25　01:24	m01	1,000	1,829	1,829,000
3	2008/07/25　01:40	m02	292	1,829	534,068
4		m03	0	0	0
5		m04	0	0	0

図 22.1.7 表示時間帯の選択

22.2 イメージビュワの使用法

「画像記録」画面で、画像ファイルが作成されている時間帯を選択すると「画像ビュワ」画面が表示されます。



図 22.2.1 イメージビュワ

イメージビュワでは、以下の操作機能を使用して、記録画像の表示をすることができます。

(1)画像ステータスの表示

○エンドレス記録の場合

① ② ③ ④



○ワンウェイ記録の場合

① ② ③ ④



図 22.2.2 画像記録状況の表示

①現在

システムの現在時刻を表示します。

②表示 [○エンドレス記録時]

画面に表示するビュワ時刻を表示します。

②記録連番 [○ワンウェイ記録時]

画面に表示する記録ファイルのディレクトリ内での連番を表示します。

③ファイルスタンプ

記録ファイルのタイムスタンプ(作成日時等)を表示します。

④ファイルサイズ

記録ファイルのサイズをバイト単位で表示します。

(2)画像表示操作ボタン

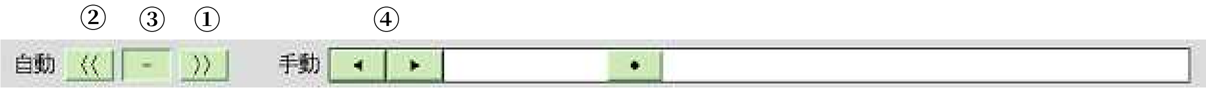


図 22.2.3 画像表示操作ボタン

①画像の自動再生

》ボタンを押すと記録画像の自動再生(1 秒毎)を行ないます。

※自動再生中に手動による検索操作を行なうと自動再生は解除されます。

②画像の自動逆再生

《ボタンを押すと記録画像の自動逆再生(1 秒毎)を行ないます。

※自動再生中に手動による検索操作を行なうと自動再生は解除されます。

③自動再生の停止

-ボタンを押すと記録画像の自動再生を終了します。

④手動

▶ボタンのクリック操作で現在表示画像の次画像を表示します。

◀ボタンのクリック操作で現在表示画像の前画像を表示します。

●ボタンのスライド操作で画像のランダム検索ができます。

ワンウェイ記録の場合の「画像ビューワ」画面には、画面をマップ表示した時点で記録されているイメージまでが表示されます。

株式会社エスアイ創房　〒150-0036 東京都渋谷区南平台町 2-12 久保ビル 703　http://www.karacrix.jp